

都市景観審議会での 主な意見

- ・ 第 2 2 回都市景観審議会での主な意見
- ・ 第 2 3 回都市景観審議会での主な意見
- ・ 第 2 4 回都市景観審議会での主な意見

魅力、風格、賑わいのある景観づくり

- ・一階レベルの賑わい、商店街や屋台など、福岡らしい賑わいの景観を守り誘導していくことを掲げてほしい
- ・界隈性、賑わいについて計画に入れることを検討してはどうか
- ・ノスタルジックを感じる古い街並みをどう残していくかが大事
- ・賑わいをもたらすには、人が集まり、広告物もあり、人が楽しむという一方で、それが風格や環境の破壊につながっていたりする

自然を生かした景観づくり

- ・都心のこれからのまちづくりでは無機質ではない花と緑がすごく大事
- ・福岡は、歴史的にも港または水辺、那珂川など水に関して景観面で親和性がある
- ・緑地の緑が枯れてきている印象。緑地の保全地区、緑をどう残していくか対策が必要
- ・高木の植栽が推奨されているが、今後の具体的な保全、創造の考え方の整理が必要

賑わい・活気のある景観づくり

- ・天神、近郊の高層マンションは明度が小さい建物が多く建ってきている
計画の中で周辺の景観との調和に触れてほしい
- ・Fukuoka East&West Coast プロジェクトで海辺や港の美装化などいい取り組みをしている
- ・神社を中心としたお祭りとかコミュニティがしっかりしたところはまだいっぱい残っており、そういったところの位置づけが今後大事になってくる

歴史と文化を生かした景観づくり

- ・新計画で「文化」という表現が消えているが文化の扱いは大事な要素
- ・歴史的資源を守っていくことが、市の観光の活性化にも役に立つ
- ・櫛田神社の周りなど歴史的な資源をどう生かすのかというところが景観計画の中で曖昧
- ・神社仏閣は市内いろいろなところがあるのでそういう景観をしっかり守ってほしい
- ・天守閣や町屋など今現物としてないものを復元することも、
歴史資源を生かした景観づくりに寄与するのではないか
- ・鳥飼八幡宮のような新しい感性を持った取組み、古い神社仏閣などに新しいアレンジをして、
今から歴史資源化していくような取り組みのあるのではないか

その他

- ・福岡らしさを示す景観を改めてしっかりと議論することが今回の計画検討の中で非常に重要
- ・懐かしさを感じるような、人の生活の営みや祭り等の活動の景観、精神的風土が大事
- ・他都市では、民有地が売られてソーラーパネルが非常に多い
- ・アドトラックなど規制を検討してほしい
- ・最近色々な街並みで見られるイルミネーションをどう規制していくか考えていく必要がある。
- ・神社仏閣周辺のパーキングの看板が原色で出ているのはどうか

基本方向1 九州・アジアの交流拠点にふさわしい魅力ある景観づくり

- ・人の営みを景観として見ることが大切
- ・場所や季節、期間によってライトアップを使い分けることが重要
- ・夜間景観を育てていく部分を市としてどう考えていくのかが重要
- ・風致地区や高度地区などの既存の都市計画制度や航空法によって生み出されている福岡の景観を正しく認識しておく必要がある

基本方向2 みどりを守り、創り、生かした景観づくり

- ・干潟や河川などの水辺がもう少し表に出てきても良いのではないか
- ・生物多様性という概念も意識した方が良い
- ・風土1000年、景観100年という言葉もある。100年の景観として樹木や近代建築も重要

基本方向3 計画的なまちづくりにあわせた賑わいと活気のある景観づくり

- ・明度の低い黒い建物が多く建ってきている
- ・調和のとれた景観づくりの一環として、色彩ガイドラインの適切な運用となっているが、少し工夫が必要
- ・建物や照明などの色彩は、景観アドバイザー会議の専門家意見を踏まえてある程度コントロールできるのでは
- ・福岡市全体に対して厳しい規制となると福岡市の元気が落ちていく。地区ごとに明確にした方が良い

基本方向4 歴史と文化を守り生かす、刻の厚みを感じられる景観づくり

- ・舞鶴公園について、重層的な歴史的景観を大切にした景観づくりを目指した方が良い
- ・歴史伝統ゾーンが上乗せなのかは重要
- ・歴史伝統ゾーンにおいて、高い建物で景観が損なわれるのは良くないため、市が大切にしていることを示した方が良い

福岡らしい景観

- ・中央公園とアクロスも世界的に評価されている景観である
- ・船乗り込みの様子などのおもてなし文化も重要である
- ・福岡タワーやドームなど百道の風景も福岡市を代表する景観ではないか
- ・セントラルパークのエリアも福岡市を代表する景観ではないか
- ・写真には場所や建物の名称だけでなく、キャプションも含めて記載した方が良い
- ・精神的風土の言葉は少し違うように感じる

その他

- ・アドトラックは、市街からも流入しているため、都市圏の他の自治体や福岡県と協力し対応することが重要
- ・アドトラックも民間事業であるため、いきなり厳しい規制をするよりも相手方と対話しながら進めた方が良い
- ・4つの基本方向と景観形成方針がどのように関係しているのか整理した方が良い

基本方向2 みどりを守り、創り、生かした景観づくり

- ・ 共働による景観づくりに、もう少し取り組みがあるのではないか

基本方向3 計画的なまちづくりにあわせた賑わいと活気のある景観づくり

- ・ アドバイザー会議等では意見を反映できないことが多い。実現化するように協議を粘り強く行ってほしい
- ・ 景観ガイドツアーや子供たちが景観をめぐる授業を記載した方がいい

福岡らしい景観

- ・ 近代建築と言えば、明治から大正なので、箱崎キャンパス跡地をどこかに掲載してほしい
- ・ 一般市街地ゾーンでは、住宅地がないので、香椎照葉、ももちの住宅地が良い
- ・ 博多福岡の食文化を記載してほしい

その他

- ・ 審議会で議論した課題認識の記載があった方がいい
- ・ 歴史・伝統ゾーンの近傍・隣接する場所については、規制を広めにかかるなどの対応を行った方がいい
- ・ 近傍も確認することがあることを事業者に伝えるようにした方がいい
- ・ 歴史・伝統ゾーンに入っていない、友泉亭、高宮緑地なども、重要な場所
- ・ 景観重要建造物や景観重要樹木について指定された場合は、情報はしっかり出してほしい
- ・ 箱崎キャンパス跡地のまちづくりでは、北と南で地域性が異なる点を踏まえ、周辺との調和を図ってほしい
- ・ 計画をホームページに載せる場合は、外国人に対しても分かるように英訳や多言語の翻訳をしてほしい
- ・ 風致地区、高度地区については、関連する制度として記載してほしい